

KOBEを愛して47年／月刊 神戸っ子

2008年7月1日発行 発行巻数第7号
雑誌502号 創刊40年1月20日 第三種郵便物許可

KOBECCO

7 2008
July
vol.562

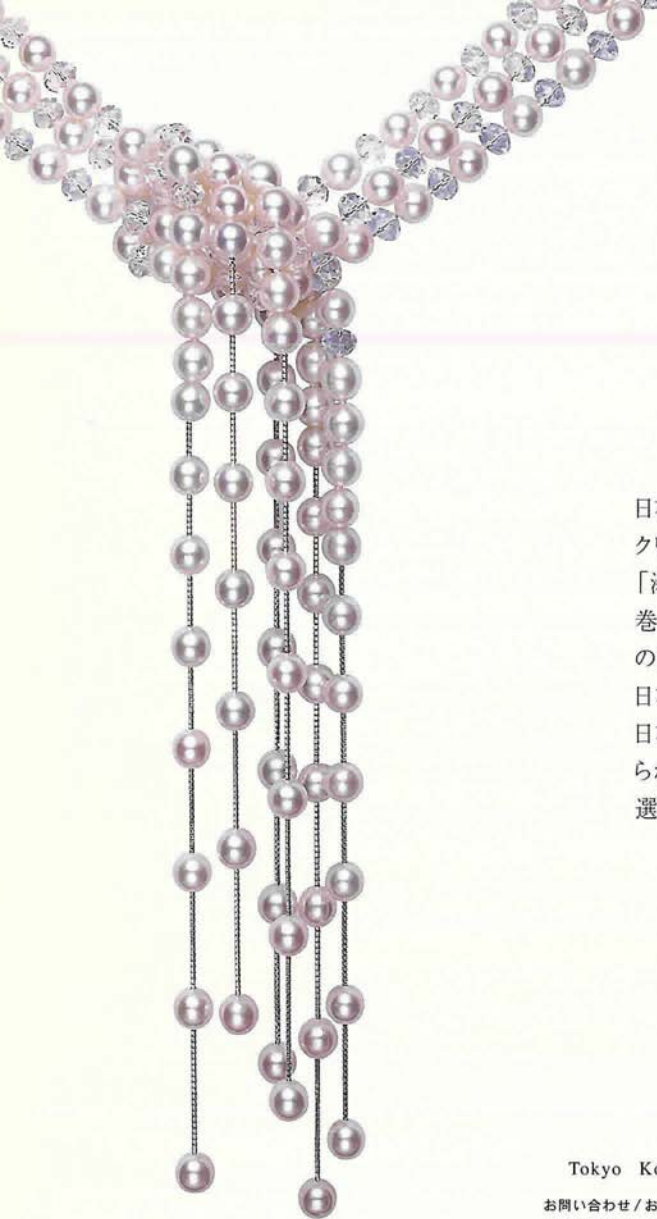
特集

大学

今、何を学ぶか

What Should Students Learn?

- ①大学新時代の扉を開く
- ②名物教授の誌上講義
- ③大学の今



日本の様式美から生まれたネックレス

DESIGNED BY TASAKI

BAKUFU 瀑布

日本が誇るアコヤ真珠をふんだんに使い、カットを施したクリスタルと組み合わせた、ラリエットタイプのネックレス「瀑布 (BAKUFU)」。

巻く、結ぶといったつけ方で、装いに合わせて自分好みの多彩なスタイルを楽しめます。

日本の様式美をコンセプトにして作られた「瀑布」は日本が誇るブランドを世界にアピールするために設けられた「新日本様式」100選に、ジュエリーで唯一選出された新感覚のネックレスです。



Tokyo Kobe New York Antwerp Hong Kong Beijing Shanghai Taipei

お問い合わせ / お客様サービス窓口 ☎0120-111-446 (受付時間 平日9:00~17:00) www.tasaki.co.jp

さんちか夏

Bargain

ギフト

バーゲン期間中、さんちか各店をご利用毎に応募券を進呈。
フェア終了後、抽選で下記の賞品をプレゼント!

1等 豪華客船ばしふいっくびいなすで行く
「屋久島チャータークルーズ3日間の旅」

旅程 10月2日(木)～4日(土) 神戸港発着

10組20名様ご招待



ばしふいっくびいなす

2等 さんちかギフト券
(3,000円分)

100名様

さんちか名店会 神戸市中央区三宮町1-10-1 TEL.078 (391) 3965 営業時間/AM10:00～PM8:00 (飲食店はPM9:00オーダーストップ)

santica
The New Heart of Kobe 神戸三宮さんちか

Mazda **ビアンテ** 7月8日デビュー!!

なんでもできそう!



先行予約
受付中

※写真は、市販予定車です。
実際に販売される車両とは、一部仕様が異なる場合があります。

Mazda
BIANTE

zoom-zoom zoom
zoom-zoom zoom



サイ 最広!! ヨー ビアンテ

クラストップ^{*}の大空間

※ 2000ccクラスミニバン(3列シート国産乗用車)でクラストップの室内空間容量。
(室内長・室内高・室内幅より室内空間容量を算出、2008年4月マツダ調べ)

乗員全員が快適で楽しい、
クラストップの広い室内空間。

ひと目見て乗りたくなる、
躍動的で機能的なデザイン。

家族の安心にこだわった、
クリーンな室内空間。

神戸マツダ

神戸市兵庫区東柳原町3-10

TEL.078-671-5011

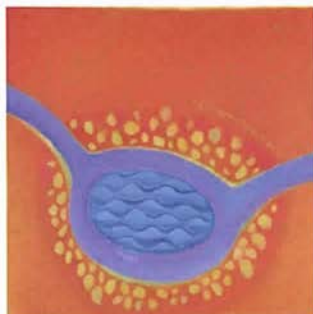
ビアンテの詳しい情報は
ホームページをご覧ください。

<http://www.mazda-hgr.co.jp>





1958年神戸市に生まれる。1984年京都市立芸術大学修士課程修了。1981年より京阪神をはじめとして各地で個展、グループ展を開催。「アート・ナウ」(兵庫県立近代美術館)、「水戸アニュアル'92」(水戸芸術館)、「震災と表現展」(芦屋市立美術博物館)などの展覧会にも出品。1994年に社会と芸術を結ぶ新たな仕組みを創る「C.A.P.(芸術と計画会議)」(2002年4月にNPO法人化)を設立しその代表も務める。



「to mizube」



「Domain-house」

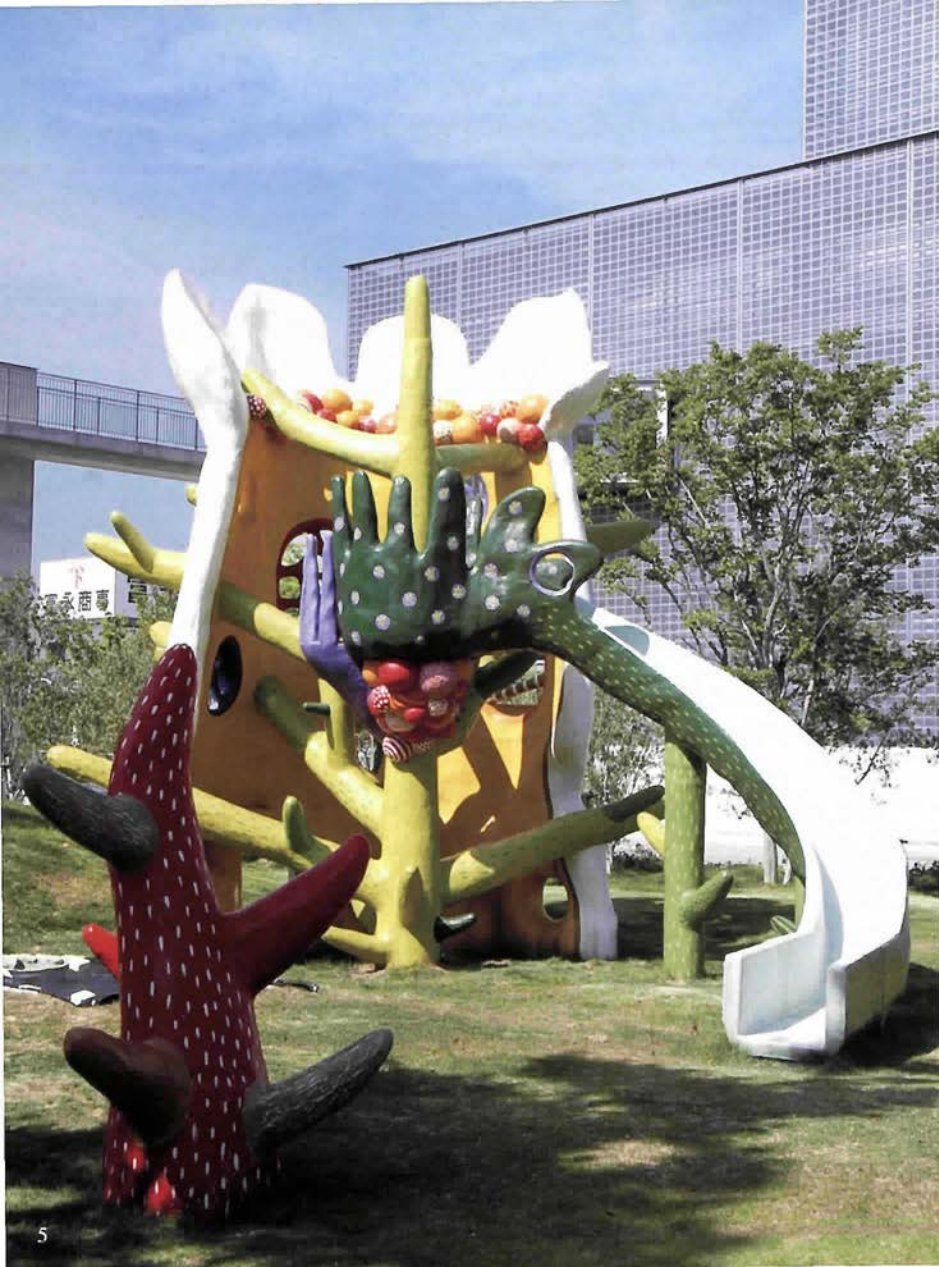
今日も元気いっぱいです

Art アート・レジェンド Vol.5 Legend

杉山 知子 「元気の木」

震災10年目の2005年。「元気の木」は震災復興記念事業のシンボルオブジェとして制作しました。

外側の砦のような大きな木には、どんな出来事にも変わる事のない人々の営みを、そして内側の若々しい木には、これからの新しい神戸の可能性を込めました。今はそんな「元気の木」で、子どもたちはご機嫌に遊んでくれています。



登って遊ぶことができる、この色鮮やかな作品は、株式会社ロック・フィールド神戸本社にある「元気の木保育室」の前庭に設置されている。材質は、繊維強化プラスチック。

フロントアート

The front art



石阪春生 「素描(女のいる風景)」

8 **特集**
今、何を学ぶか

10 大学新時代の扉を開く

杉原左右一先生(関西学院大学)

22 鈴木正幸先生(近大姫路大学)

12 名物教授の誌上講義

松井淳先生(甲南大学)

金刺達夫先生(神戸山手大学)

後藤正治(神戸夙川学院大学)

加藤一彦先生(大手前大学)

24 大学の今

関西学院大学、甲南大学、神戸夙川学院大学、流通科学大学、
大手前大学、神戸山手大学

4 Art Legend 杉山知子

6 FRONT ART / 石阪春生

7 目次

34 アンクラージュ御影

42 第10回アグーナリー開催

46 平成20年度湊川神社楠公祭

48 発売以来大好評の「クリアアサヒ」

52 神戸商工会議所 女性経営者倶楽部 創立10周年

54 美容室エリザベス創業60周年

56 サロンド・美宝



- 58 赤いリボン&ル・グランブル22周年記念感謝パーティ
- 60 イベントスケジュール
- 63 KOBEの本棚
- 64 KOBECCO2008 瀬戸和夫 川崎麻衣
- 66 くらしと健康 神戸市医師会公開講座⑯
- 68 風さやか
- 70 でん太の教えてドクター⑤⑤
- 72 <連載>おもしろ浮世絵講座・江戸人の遊び心⑱
造型の妙技「新形三十六怪撰」 中右瑛
- 74 <連載>海船港 今秋も華麗な外国クルーズ船が続々と 上川庄二郎
- 76 <連載>漫画 情熱の洋菓子職人 比屋根毅物語⑦ 佐藤晴美
- 86 <連載>コーヒークップの耳⑨ 文・出石アカル 絵・菅原洗人 題字・六車明峰
- 88 <連載>神戸異人館物語 夜明けのハンター⑳ 文・三条杜夫 絵・谷口和男
- 94 KOBECCOサンバチーム
- 96 耳よりKOBE
子ども環境サミット in KOBE / 桑名晴子LIVE / 大和松蒔 /
Young 60s of Pearl City Kobe / 神源 車の助
- 102 KOBECCOグルメ
- 115 法人会員ニュース
- 122 百店会だより
- 136 有馬歳時記
- 140 コウベスナップ
- 142 定期購読のご案内・編集後記
- 143 Present
- 144 2008年7月の貴方のby真希苑芳
- 145 湊川神社 宝物殿を訪ねて⑦ / 「卯花威胴丸」

今月の表紙 甲南大学先端生命工学研究所のDNA二重らせんモニュメント。
新キャンパスへ移転して新学部と連携する予定。
撮影 / スタジオブロックス

特集

大学

今、何を学ぶか

What Should Students Learn?

大学が大きく変わろうとしています。
今回の大学特集では、神戸、阪神間の大学の「今」を語っていただくとともに、名物教授に登場いただいて、講義の内容や研究の内容をお話しいただきました。
「学ぶこと」の楽しさを思い出してください。





I 大学新時代の扉を開く…10



杉原左右一先生
関西学院大学学長



鈴木正幸先生
近畿経路大学教授／神戸大学名誉教授

II 名物教授の誌上講義…12



松井 淳先生
甲南大学 先端生命工学研究所
理工学部機能分子化学科 准教授



金刺 達夫先生
神戸山手大学 現代社会学部
都市交流学科 教授



後藤 正治先生
神戸夙川学院大学
観光文化学科 教授



加藤 一彦
(モンキーパンチ)先生
大手前大学 メディア芸術学部 教授



III 大学の今…26

【関西学院大学】



関西学院大学 学長
杉原左右一さん

関西学院大学理学部卒業後、同大学院商学研究科修了。商学博士。確率論や数理統計学の分野の研究・教育に携わる。1973年から開学で教鞭をとり、これまで商学部長や総合教育研究室長、図書館長などを務める。2008年、関西学院大学学長に就任

大学新時代の扉を開く①

「Mastery for Service(奉仕のための練達)」
学び、そして社会に役立っている

キリスト教精神に基づく教育理念と使命感

大学で学ぶ目的は、もちろん学問を究めることです。しかし、それと同時に、自己を確立し、進むべき方向を見出すことにもあります。大学は、「何のために勉強するのか」「何のために生きるのか」を自問する場所でもあるのです。この問いには一定不変な正解は

ありません。学生一人ひとりが答えを見出さなければならぬのです。

関西学院大学にはその大きな指針があります。関西学院第4代院長のC・J・L・ベーツ先生の言葉で、関学のモットー「Mastery for Service(奉仕のための練達)」です。学ぶことは自分自身のためだけではなく、社会の役に

立つためである。人生に迷った時、目標を失った時、この言葉が関西学院の学生たちを、そして卒業生たちを勇気づけ、励ましてきました。関西学院大学学則第1章第1条に「広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、キリスト教主義に基づいて人格を陶冶することを目的とする」とあります。学生にキリスト教信徒になることを求めるものではありません。キリスト教主義教育によって人間形成を行う。1889年、アメリカ人宣教師W・R・ランバス博士により創立されて以来119年間、この教育理念と使命感は脈々と受け継がれています。

分野の枠を越えた知識と国際的な視野を培う

受験生は、偏差値で進路を判断し、記憶力に主眼が置かれがちに勉強を重ねて大学に入学してきます。また、文系または理系に偏った知識を持ち、思考力を養う訓練が不足しているように思われます。そもそも文系、理系という区別は、単に便宜上のもので、人間が関わる多くの問題はそれらが



来年創設120周年を迎える関西学院大学

ある大学づくりを展開するかが課題です。

2008年4月には関学9番目の学部「人間福祉学部」が開設されました。社会福祉学科、社会起業学科、人間科学科の3学科からなり、「Mastery for Service」の精神を実践する学部として期待されています。また、経済学部と法学部が連携した経法連携コースとし

て、地域政策コースが新設されました。大学院には人間福祉研究科や、経営戦略研究科博士課程が新設されました。先端社会研究所も新設され、それぞれに新しい試みとして注目されています。さらに、キリスト教のルーツを同じくする聖和大学と2009年に法人合併。それに伴って、教育学部、及び大学院教育学研究科の開設を予定しています。また、総合政策学部には都市政策学科と国際政策学科、理工学部には数理科学科と人間システム工学科や、生命科学科に生命科学専攻、生命医化学専攻の新設を予定し、ますますの充実を図っています。

さらに「英語の関学」とよばれ、国際性を特徴の一つとしてきた本学ならではの国際系の学部開設も2010年に予定しています。

社会に貢献できる人になるためには、大志を抱き、チャレンジ精神を持つて学び、自分自身に力をつけることが第一歩です。その力をもつて初めて、他者を助けることができるものです。そういった人材の育成が関西学院大学の誇りです。

融合したものです。私がよく引用する例に、地球温暖化問題、地球環境保全問題があります。これらの問題に取り組むためには文系と理系の基礎的知識を合わせ持ち、問題の所在を正しく認識し、かつどのように問題を解決すべきかを提案する能力が必要です。知識量だけでは解決できないものです。このことは、他の多くの問題にも共通していえることだと思えます。

人類が大きな問題を抱える現

代社会。大学では、専門分野の勉強と並行して、異学問分野に関する基礎知識を持つことや、国際的な視野を持つて物事を捉えることが必要です。未知なる問題の解決にあたる意欲と創造的な発想を持つことができる社会人を育てることが、21世紀の大学が担う大きな役割の二つだと考えています。

変革期を迎えた関西学院大学

少子化社会を迎え、関西学院

大学も大きな変革期にあるとい



甲南大学
先端生命工学研究所
理工学部機能分子化学科
准教授

松井 淳さん

平成3年京都大学工学部卒業。スウェーデン王立ント大学研究員を経て平成6年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了、同年広島市立大学情報科学部助手。平成12年甲南大学理学部講師となり、平成15年からは甲南大学先端生命工学研究所兼任教員を兼務。平成19年より現職。博士(工学)。専門分野は、生体関連化学とバイオセンサー

名物教授の誌上講義 ①

社会に必要とされていると感じる時、
学生の目が輝く

2009年4月、甲南大学フロンティアサイエンス学部が
ポートアイランドに開設予定。フロンティアサイエンスって何？
新学部はどんなところ？ 松井先生にお聞きしました。

松井先生の研究内容について
お話しください。

特定の分子だけを識別するこ
とができる機能性プラスチックの研
究です。分子の型を抜いたプラスチ
ックなのですが、いろいろなものが

混ぜた中から、ほんのわずかにあ
る特定の成分だけを捕まえて取
り出すことができます。例えば、農
作物の残留農薬や地下水に混じつ
た除草剤などを見つけ出します。
対象が農作物や果汁などであれ

ば食品分析の分野で、地下水や土
壌であれば環境分析の分野で、血
液であれば医薬の分野で役立つこ
とになります。さらに、捕まえたら
色が変わるという様々な仕組みを
試している段階です。リトマス試験
紙のようなものです。世間を騒が
せた餃子中毒のようなケースでも、
この技術が実用化されれば、短時
間に現場で特定の農薬を検出す
ることが可能になるといえます。

フロンティアサイエンス学部
生命化学科とは？

私たちが生きているということ
は、体の中で無数の化学反応が起
きているということ。ただし、ゴチャ
ゴチャに起きているわけではなく、
反応して欲しい物同士が反応して
欲しい時に、秩序を持って反応して
いるから人間が生きていけるので
す。それは、私たちの体内の分子
が反応するべき相手を識別できる
から可能なこと。フロンティアサイ
エンス学部は、このような生命の精
巧な仕組みから様々なことを学ば
うというものです。科学の歴史を
例にとれば、飛行機。鳥が飛んでい
るのを見て昔の人は「空を飛びた



兵庫県下の高校へ出向き、実験指導を行う

いなあ」と思い、真似をして羽ばたいていましたが、失敗ばかり。そこで発想を転換し、羽ばたきをやめ、羽を固定しました。代わりにプロペラやジェットエンジンを付けました。その結果、今の飛行機があります。新学部は生命に学び、「すごいなあ」と言うだけでなく、そこに新しい発想を付け足していきまると。私の研究は生命をお手本にするにあたり、分子が分子を識別するという点に着目しますが、各教員が生物学的、化学的、物理学的、いろいろな視点で着目し、研究します。それらを発展させれば、テクノロジとして社会の様々な分野で役立つものが作れます。

新学部ではどのような教育を
目指しているのですか。

生命をお手本にして、学生一人ひとりが興味のある切り口で基礎から応用までを学びます。基礎の段階で「何のためにこんな勉強をするのだろうか？」という疑問を持ち、目的や動機、意欲を失うというケースが多いですね。新学部のカリキュラムでは、応用の先には企業の研究開発があり、社会があると考えています。その社会が今、求めているものは何か、それに対して何をしなくてはならないかが基本になっています。生命から基礎を学ぶことが将来的に、コンピューターの小さな回路を作ることに関立つ、副作用のない薬の開発につながる、新しい医療機器を作るのに役立つなど、目的が見えてくると学ぶことが楽しくなります。

近年、産業界で求められるテクノロジは非常に複雑になっています。教員が用意した練習用の課題や実験だけをこなす受け身中心の教育では、即戦力になる人材を育てるのは難しい。私たちは1年生から「キミたちは研究者だ！」という姿勢を持って学生に接し、新たな最先端テクノロジを作り上げるができる人材の育成を

目指しています。
最先端テクノロジは発表する場を持ち、反響を得ることがあります。「次はこうしてみよう」という動機づけになり、新しい発想が生まれます。実行するには新たな基礎学習が必要になります。この循環が大切なのです。

ポートアイランドという環境は？

甲南大学は初めて岡本を出て、新キャンパスを創ります。神戸医療産業都市構想のリサーチ・研究開発ゾーン内で、次世代スーパーコンピュータ立地予定地に隣接しています。企業の研究開発施設も多く、バイオ研究の集積地としても注目されるポートアイランドは「学習することが社会と直接つながっている」と学生が生身で感じ、考えることができる環境です。島全体がキャンパスです。自身の経験からもいえるのですが、社会に必要とされていると感じる時、学習意欲が生まれます。必要とされる物を作っている時の学生の目は輝いています。私たちは、その輝きを大切にし、育てていきたいと思っています。